

注 文 書

- 1 契約番号 2 0 2 5 0 0 1 4 2 6

- 2 工 事 名 大崎市古川リサイクルデザイン展示館
解体工事

- 3 工事場所 大崎市古川川端 2-15

- 4 工 期 契約締結日の翌日から
令和8年3月24日まで

- 5 別添書類
 - (1) 仕 様 書
 - (2) 参考明細書
 - (3) 図 面

- 6 担 当 課 市民協働推進部環境保全課

大崎市古川リサイクルデザイン展示館解体工事 仕様書

第1章 総則

1. 本工事は設計図書によるほか、工事に関する市の規則等に基づき施工し、さらに施工にあたっては工事箇所及び周辺にある既存の施設、地上地下の工作物に対し支障を及ぼさないよう事前に占有又は所有者の立会いを得て施工に万全を期するとともに、もし損害を与えた場合、請負者の責任において処置しなければならない。

第2章 材料

1. 工事材料の規格並びに材質は設計図書に明示されたものとする。
2. 生コンクリートについては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。

第3章 建設副産物処理

1. 本工事において発生する建設副産物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理するものとする。
2. 屋外及び敷地周辺の跡片付け及びこれに伴う屋外発生材処分等に要する費用は本工事に含まれているので、適正に処理すること。
3. 当該工事受注後は、速やかに施工計画書（再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書、及び建設廃棄物処理計画書を含む。）を作成し、提出するものとする。
4. 建設副産物を処理した後は、速やかに建設副産物処理結果報告書に処理状況を確認できる写真及び建設廃棄物処理に係るマニフェストを提出するものとする。なお、建設副産物処理に要する費用については、マニフェストの数量により精算するものとする。

第4章 その他

1. 本工事に着手する前に、必要であれば関係官庁との協議を行い、第三者へ支障のないように努めること。
2. 本工事場所は付近に公共施設等があることから、工事に際しては事故等が発生しないよう細心の注意を払って施工すること。
3. 本工事における下請負、資材調達は、大崎市内の企業を活用することを原則とする。また、発注者が指定した主要資材については、工事完了時に主要資材市内調達調書を提出すること。
4. 暴力団等の排除について
 - (1) この契約の履行期間中に大崎市入札契約暴力団排除措置規則（平成

25年6月1日施行。以下「排除規則」という。)の措置要件に該当すると認められたときは、契約を解除することがある。

(2) 本市から指名停止の措置を受けている者にこの契約の全部又は一部を下請けさせ、若しくは受託させてはならない。また、この契約の下請け若しくは受託をさせた者が、排除規則の措置要件に該当すると認められるときは、当該下請契約等の解除を求めることがある。

(3) この契約の履行にあたり暴力団員又は暴力団関係者等(以下「暴力団員等」という。)から不当要求又は妨害を受けたときは、速やかに警察への通報を行い、捜査上必要な協力を行うとともに、発注者へ報告すること。また、この契約の下請負若しくは受託をさせた者が、暴力団員等から不当要求又は妨害を受けたときは、同様の措置を行うよう指導すること。

なお、暴力団員等から不当要求又は妨害を受け、適切に警察への通報、捜査協力及び発注者への報告が行われた場合で、これにより、履行遅延等が発生すると認められるときは、必要に応じて、工程の調整又は履行期限の延長等の措置を講じる。

5. 工事等の実施にあたり、東北地方太平洋沖地震による被災者等の市内求職者の積極的な雇用に努めること。

6. 週休2日工事の適用について

(1) 本工事は、週休2日工事【発注者指定型(現場閉所型・~~交替制型~~)】の対象である。

本工事の当初積算時では、週休2日工事の補正は行っておらず、工事着手前に「通期の週休2日」、「月単位の週休2日」、「完全週休2日」のいずれに取り組むか協議し、精算変更時に達成状況に応じ、変更するものとする。。

(2) 受注者は、建設業の働き方改革を推進する観点から、土日・祝日を休工日とするよう努めるものとする。

(3) 分離発注の場合は、各受注者で協力し、工事の進捗に影響が出ないよう現場休息の予定日を調整すること。工事着手後に、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度、受注者間で調整した「実施工程表」等を提出すること。

(4) 週休2日工事の対象期間には、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含まない。

(5) 天候等による現場閉所は休工日として認めるものとする。

なお、災害時の緊急要請などによる現場作業が発生した場合や異常気象による作業不稼働日が多く発生した場合等における休工日や対象

期間の取り扱いについては、工期の変更が伴うこともあることから、受発注者間の協議により決定するものとし、臨機に対応することとする。

- (6) 受注者（下請負人を含む現場の全ての労働者等を含む）は、休工日に事務作業や他現場での作業を行わないことを原則とする。
- (7) 受注者が現場閉所型から交替制型への変更を希望する場合には、発注者に協議するものとし、発注者は対象期間に入る前に限り、受発注者間の協議により変更を認めることができるものとする。
- (8) 受注者は、対象期間の開始日から月毎に、休日等の取得の実績が確認できる休日等取得実績書を作成し、発注者へ提出するものとする。
- (9) 休工日が週休2日工事の要件を達成しない場合は、減額変更の対象となるので留意すること。
- (10) 週休2日工事については大崎市週休2日工事実施要綱に基づき行うこと。

※【準備期間】

施工に先立って行う、労務、資機材の調達、調査、測量、設計照査、現場事務所の設置等の期間であり、工事の始期から直接工事費に計上されている種別・細別について工事着手するまでの期間をいう。

※【後片付け期間】

施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の期間をいう。

建築物解体工事特記仕様書				防水工事		・防水施工		・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルト防水工事作業 ・FRP防水工事作業		内部足場		※設置する（・ ※脚立、足場板等） ・設置しない ・材料、撤去材等の運搬方法 種別（・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種） C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ） 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。 ・ 酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施錠できる小屋等に保管すること。 ・ 作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。 ・ 建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。 ・ 工事に関係部分の出入の表示を行うこと。		2. 産業廃棄物 広域認定制度 の活用		[4.4.2] 種 類 所在地等（km）	
I 工 事 概 要		1 工事番号・名称 大崎市古川リサイクルデザイン展示館解体工事 2 工事場所 大崎市古川川端2-15 3 用途地域等 都市計画区域（○ 内 ・ 外）用途地域（商業地域） 防火地域等（・ 防火 ○ 準防火 ・ 指定なし ・ 22条） その他の地域・地区（ ） 4 主 要 用 途 その他 5 敷 地 面 積 523.31 m ² 6 工 事 の 概 要 工事種別： 解体工事一式 建物名称： 古川リサイクルデザイン展示館（平成9年建設） ①展示館 構造・階数： 木造 2階建 延床面積： 260.08㎡（1階：165.82㎡・2階：94.26㎡） ②倉庫 構造・階数： 木造 平屋建 延床面積： 28.57㎡ 7 別 途 工 事		7 完成図等		石工事		・石材施工（石張り作業）		10 その他		※ 解体工法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。 ※ 解体方法及び手順は、「分別解体等に係る施工方法に関する基準（建設リサイクル法規則第2条）」による。 [1.2.1～2] 工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。 [3.9.2] 杭の解体 ・ 行う（※杭頭から mまで ・全長 ） 杭の解体工法 ・ 引き抜き工法（・ 振動 ・ ケーシング ・ ） ・ 粉砕による解体 [3.11.1] 樹木の伐採伐根 ○ 行う（図示による） 樹木の移植 ・ 行う（図示による） [3.12.1] 地下埋設物及び埋設配管の解体 ・ 行う（図示による） [3.13.1] 解体後の埋戻し及び盛り土 ○ 行う 埋戻し及び盛土の材料 ・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場内で破砕したもの（粒径40mm以下）を使用する。 埋戻し範囲 ・ 図示による C種の場合 建設発生土受入れ量 m ³ 発生場所 受入条件 整地の高さ ・ 現状GL ・ 図示による [3.2.5] 建設発生土の処理 ○ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。 ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地（km） ・ 土壌汚染対策法に基づく特定有害物質の含有を調査する。 調査範囲及び項目 ※図示		3. 産業廃棄物 広域認定制度 の活用		[4.4.3] 種 類 受入施設名称等 所在地（Km） 備考 ○（安定型） ○非飛散性アスベスト含有建材 ○混合廃棄物 矢本クリーンセンター（株）大塩最終処分場 東松島市大塩字天神堂1-1（30.4km） 矢本クリーンセンター（株）大塩最終処分場 東松島市大塩字天神堂1-1（30.4km） ○（管理型）（遮断型） 種 類 受入施設名称等 所在地（Km） 備考 ○廃石膏ボード （公財）宮城県環境事業公社「グリーン・みやぎ」 黒川郡大和町鶴巢小鶴沢字大沢5（27.8km） 1～3の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること [4.5.1] 種 類 処理施設名称等 所在地（Km） 備考 ・CGA処理木材 ・ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード ・ ＜対象となる石膏ボード＞ 小名浜吉野石膏（株） いわき工場 昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの 日東石膏ボード（株） 八戸工場 平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの	
II 建築工事仕様		8 その他		8 完成写真		※ 作成する 営繕工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原本（電子媒体）とともに監督職員に提出する。 なお、原本は、DVD-R等で提出すること。 分 類 サイズ 撮影箇所数 部 数 提出様式 ※カラー ※L ※営繕工事写真 ※工事用アルバムA4版 ・白黒 ・2L 撮影要領の ・1部 ・ポケット式程度 完成写真程度 ・部 ・フリースアルバム （台紙寸法323×270程度） アルバムは、監督職員との協議により紙媒体又は電子媒体とする。		4 建設発生土の処理		○ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。 ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地（km） ・ 土壌汚染対策法に基づく特定有害物質の含有を調査する。 調査範囲及び項目 ※図示		4. 処分に注意を要する建設廃棄物		[5.1.2] 材 料 名 仕様等（型式、厚さ、数量） 調査の範囲 ※ 図示 ・ 工事対象範囲 [5.1.3][1.2.2] ※ 種類別に具体的な処理計画を定め施工計画書に記載する。 特別管理産業廃棄物の種類 特別管理産業廃棄物の名称 所在地等（km） ・ 廃石綿 [5.4.1] PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器 ・ 有（数量は図示） ・ 無 PCB含有シーリング材 ・ 有（施工範囲は図示） ・ 無 PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納めて適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員を通じて保管事業者に引き渡す。 [7.3.1] 回収又は処分を行う副産物の種類 対象機器名称 回収業者又は処分場の名称等 保管場所・処分場の所在地等 ・ フロン ・ ハロン ・ イオン化式感知器 ・ 六フッ化硫黄（SF6）ガス			
章 項 目 特 記 事 項		9 火災保険等		2 仮 設		※ 設ける（位置、延長等は図示） ・ 万能鋼板（H=3.0m） ・ 単管シート（H= ） ・ 防音パネル（H= ） ・ パネルゲート（W= H= ） × 箇所 ・ シートゲート（W= H= ） × 箇所 ・ 設けない ※ 設ける（適用範囲、高さ等は図示） ・ 防音パネル ・ 防音シート ・ 養生シート ・ 設けない ※ 配置する（40日 × 1人 = 40人日） ・ 配置しない ・ 設ける ・ 既存建物内の一部を使用する。 ・ 構内に新設する（規模 m程度） ・ 備え付ける備品（ ） ※ 設けない 営繕工事における工事及びコスト表示要領（令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課制定）により設置する。 ※ 工事表示板 設置枚数 1枚 ・ 事業コスト表示板 設置枚数 枚 ※ 建設リサイクル法による標識を設置する。 構内既存の施設 ※ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ○ 利用できない 構内既存の施設 ※ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ○ 利用できない ※ 指定しない ・ 指定する（図示） 外部足場 ※設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 <2.2.4> ・ <表2.2.1>） ・ 設置しない 防護シート ※設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない		1 一般事項		○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 ※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月（東京都建設局編集）による ※調査に先立って調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること 調査範囲 ※ 図示 ○ 大崎市契約規則（平成18年3月31日規則第68号） ○ 大崎市建設工事元請・下請関係適正化要綱（令和5年8月25日告示第113号） ○ 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和5年版）及び工事写真撮影ガイドブック（国土交通大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版） ※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合） 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない ・ 適用する ※ 適用しない [1.3.3] [1.3.8] 工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。 [1.6.2] ・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 工 事 種 目 技能検定職種（技能検定作業） 以下の該当工事 ・ 該当する作業がある以下の職種（作業）の全て 仮設工事 ・ とび（とび作業） 鉄筋工事 ・ 鉄筋施工（鉄筋組立作業） コンクリート工事 ・ 型枠施工（型枠工事作業） ・ コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業） 鉄骨工事 ・ 鉄工（構造物鉄工作業） コンクリートブロック・ALCパネル ・ 押出成形セメント板工事 ・ ALCパネル施工（ALCパネル工事作業）		1 一般事項		○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 ※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月（東京都建設局編集）による ※調査に先立って調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること 調査範囲 ※ 図示 ○ 大崎市契約規則（平成18年3月31日規則第68号） ○ 大崎市建設工事元請・下請関係適正化要綱（令和5年8月25日告示第113号） ○ 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和5年版）及び工事写真撮影ガイドブック（国土交通大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版） ※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合） 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない ・ 適用する ※ 適用しない [1.3.3] [1.3.8] 工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。 [1.6.2] ・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 工 事 種 目 技能検定職種（技能検定作業） 以下の該当工事 ・ 該当する作業がある以下の職種（作業）の全て 仮設工事 ・ とび（とび作業） 鉄筋工事 ・ 鉄筋施工（鉄筋組立作業） コンクリート工事 ・ 型枠施工（型枠工事作業） ・ コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業） 鉄骨工事 ・ 鉄工（構造物鉄工作業） コンクリートブロック・ALCパネル ・ 押出成形セメント板工事 ・ ALCパネル施工（ALCパネル工事作業）			

	設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工 事 名 称 大崎市古川リサイクルデザイン展示館解体工事	全 業	図面 No
				図 面 名 称 特 記 仕 様 書 (I)		
				Scale		

⑥

ア
ス
ベ
ス
ト
含
有
建
材
の
除
去

① 石綿含有建材の除去工事

施工調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。
調査範囲（※施工範囲全て・図示）
貸与資料（）

・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材 料 名	定性分析方法		定量分析方法	
	JIS A 1481 または JIS A 1481-2		JIS A1481-3または JIS A 1481-4	
・	・	箇所	・	箇所
・	・	箇所	・	箇所
・	・	箇所	・	箇所

サンプル数
採取箇所

1箇所あたり3サンプル
・図示・

・石綿粉じん濃度測定
測定点 測定時期、場所及び測定箇所数

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 点
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計 点
・	測定3		処理作業室内	・計 点
・	測定4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	・計 点
・	測定5		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/sec以下の位置
・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点
・	測定7	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	・計 点
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計 点
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定4 ・測定5	25	5	30
・測定 ・	25	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理

・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲・図示
除去工法・※9.1.3(2)(7)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲・図示
除去工法・破砕して除去・手ばらし
除去した石綿含有保温剤等の飛散防止
※湿潤化・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板の除去
除去対象範囲・図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
作業場所周辺養生
・行う・行わない

・石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲・図示
工法・集じん装置付き超高压水洗工法（100Mpa以上）
・湿式集じん装置付きディスクグラインダー工法
・乾式集じん装置付きディスクグラインダー工法
・剥離剤（薬品）工法
・超音波ケレン工法
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立部分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

	大崎市	設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工 事 名 称 大崎市古川リサイクルデザイン展示館解体工事	全 業	図 面 N o
		図 面 名 称		S c a l e			
		特 記 仕 様 書 (2)					

交通誘導警備員の配置人数について

工事期間中の交通管理に要する「交通誘導警備員」の数量については、交通誘導警備員が必要と想定される主な工種の「作業日当り標準作業量」から算定した作業日数を用いている。

○当該工事区間に於ける配置人数

- ・ 工事区間の前後に交通誘導警備員Bを配置する。
- ・ 参考配置人数：40人
- ・ 昼夜別：昼間
- ・ 交代要員の有無：無

追記

- 1) 所轄警察署との交通協議により、交通誘導警備員の配置変更等があった場合には、別途協議のうえ設計変更することができる。
- 2) 施工数量に変更が生じた場合において、これと連動する交通誘導員の計上日数が変更となるときは、別途協議のうえ設計変更することが出来る。
- 3) 交通誘導警備員の定義は次のとおり
交通誘導警備員A：警備業者の警備員で、交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員
交通誘導警備員B：警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の誘導警備員
(大崎市では、過去3年以内に建設業協会等が主催した建設工事の事故防止のための安全講習会受講者も認める)

以上

工 事 費 明 細 書

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	直接工事費						
A	展示館解体工事		1	式			
B	倉庫解体工事		1	式			
C	外構解体撤去その他工事		1	式			
D	電気設備撤去工事		1	式			
E	機械設備撤去工事		1	式			
	直接工事費 計						
	共通費						
	共通仮設費	積上げ分	1	式			
	共通仮設費	率分	1	式			
	現場管理費		1	式			
	一般管理費等		1	式			
	共通費 計						
	工事価格						
	消費税等相当額	10.0%	1	式			
	工事費						

工 事 費 明 細 書

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	展示館解体工事						
1.	直接仮設工事		1	式			
2.	展示館解体工事		1	式			
3.	発生材処分		1	式			
	計						

工 事 費 明 細 書

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1.	直接仮設工事						
	外部養生足場 仮囲い上部 道路面 二面	くさび緊結式一本足場	80.1	m2			
	外部養生足場 北面	〃	88.3	m2			
	外部足場 東面(瓦撤去用)	くさび緊結式本足場W=600	75.5	m2			
	養生シート張り	防災Ⅰ類	243.9	m2			
	内部脚立足場		260.1	m2			
	計						

工 事 費 明 細 書

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.	展示館解体工事 木造2階建て 延床 260.1㎡(1階 165.8㎡、2階 94.3㎡)						
	内部造作内装分別解体		260.1	m2			
	屋根瓦撤去		実255.0	m2			
	外装分別解体		260.1	m2			
	上屋解体		260.1	m2			
	土間コンクリート解体		32.6	m3			
	基礎コンクリート解体		8.4	m3			
	計						

工 事 費 明 細 書

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.	発生材処分						
	発生材積込						
	コンクリート類	機械	41.0	m3			
	ボート・木材類	機械	115.0	m3			
	発生材運搬						
	コンクリート		41.0	m3			
	日本瓦		8.0	m3			
	木くず		55.0	m3			
	ボート類		2.0	m3			
	廃プラ類		15.0	m3			
	ガラス・陶器類(ガラスウール含む)		25.0	m3			
	がれき類		10.0	m3			
	発生材処分						
	コンクリート		41.0	m3			
	日本瓦		8.0	m3			
	木くず		55.0	m3			
	ボート類		2.0	m3			
	廃プラ類		15.0	m3			
	ガラス・陶器類(ガラスウール含む)		25.0	m3			
	がれき類		10.0	m3			
	計						

工 事 費 明 細 書

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B	倉庫解体工事						
1.	直接仮設工事		1	式			
2.	倉庫解体工事		1	式			
3.	発生材処分		1	式			
	計						

工 事 費 明 細 書

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1.	直接仮設工事						
	外部養生足場 三面	くさび緊結式一本足場	56.6	m2			
	養生シート張り	防災Ⅰ類	56.6	m2			
	内部脚立足場		28.6	m2			
	計						

工 事 費 明 細 書

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.	倉庫解体工事 木造 平家建て 延床 28.6㎡						
	内部造作内装分別解体		28.6	m2			
	屋根瓦撤去		実51.0	m2			
	外装分別解体		28.6	m2			
	上屋解体		28.6	m2			
	土間コンクリート解体		4.3	m3			
	基礎コンクリート解体		4.4	m3			
	計						

工 事 費 明 細 書

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.	発生材処分						
	発生材積込						
	コンクリート類	機械	8.7	m3			
	ボート・木材類	機械	12.0	m3			
	発生材運搬						
	コンクリート		8.7	m3			
	日本瓦		1.5	m3			
	木くず		4.0	m3			
	ボート類		1.0	m3			
	廃プラ類		0.5	m3			
	ガラス・陶器類(ガラスウール含む)		4.0	m3			
	がれき類		1.0	m3			
	発生材処分						
	コンクリート		8.7	m3			
	日本瓦		1.5	m3			
	木くず		4.0	m3			
	ボート類		1.0	m3			
	廃プラ類		0.5	m3			
	ガラス・陶器類(ガラスウール含む)		4.0	m3			
	がれき類		1.0	m3			
	計						

工事費明細書

[illegible]

工 事 費 明 細 書

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材積込						
	コンクリート類	機械	24.4	m3			
	木材類	機械	4.0	m3			
	発生材運搬						
	コンクリート		24.4	m3			
	木くず		3.5	m3			
	生木		0.5	m3			
	発生材処分						
	コンクリート		24.4	m3			
	木くず		3.5	m3			
	生木		0.5	m3			
	計						

工 事 費 明 細 書

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
D	電気設備撤去工事						
	展示館電気設備撤去		260.1	m2			
	倉庫電気設備撤去		28.6	m2			
	計						

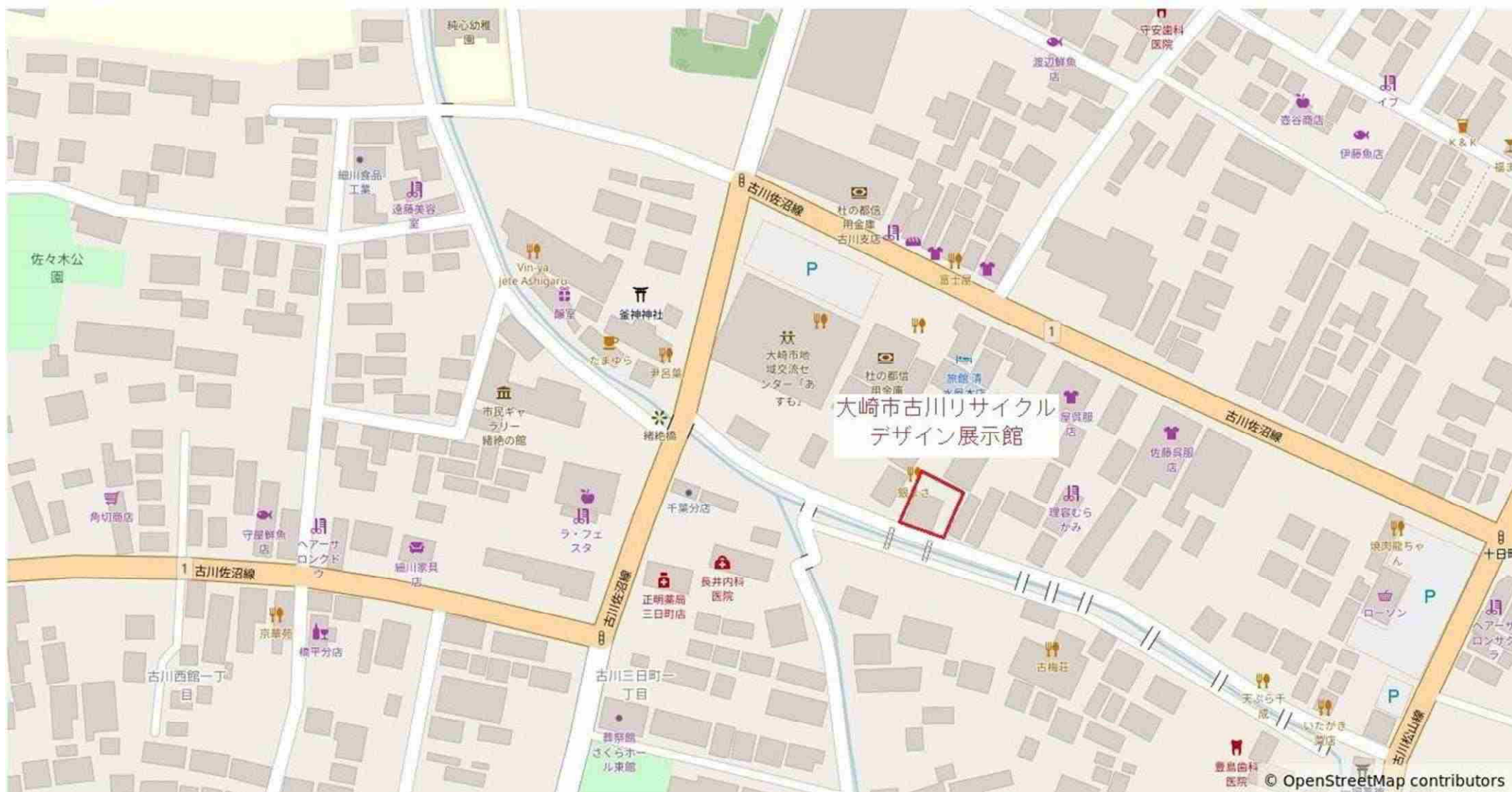
工 事 費 明 細 書

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E	機械設備撤去工事						
	展示館機械設備撤去		260.1	m2			
	エアコンフロンガス回収		1.0	式			
	倉庫機械設備撤去		28.6	m2			
	水道プラグ止め、下水キャップ止め		1.0	式			
	計						

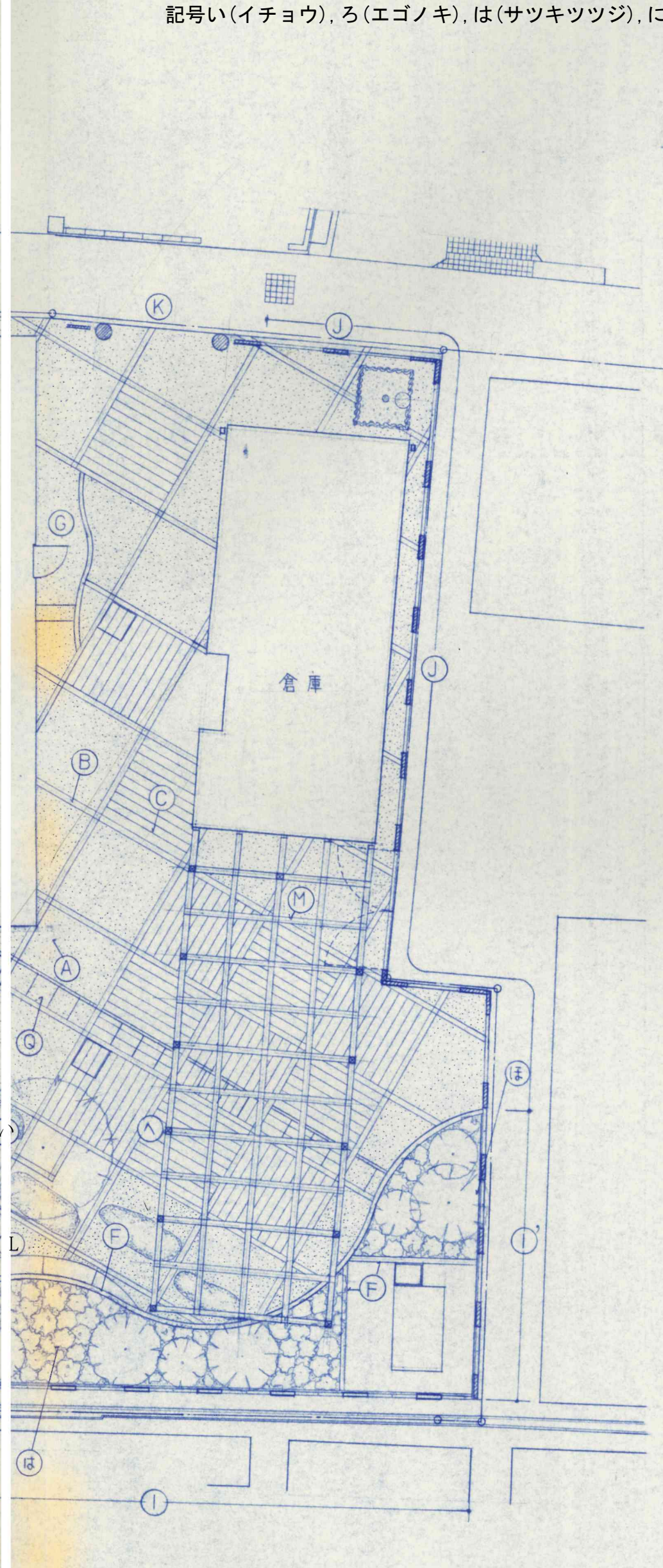
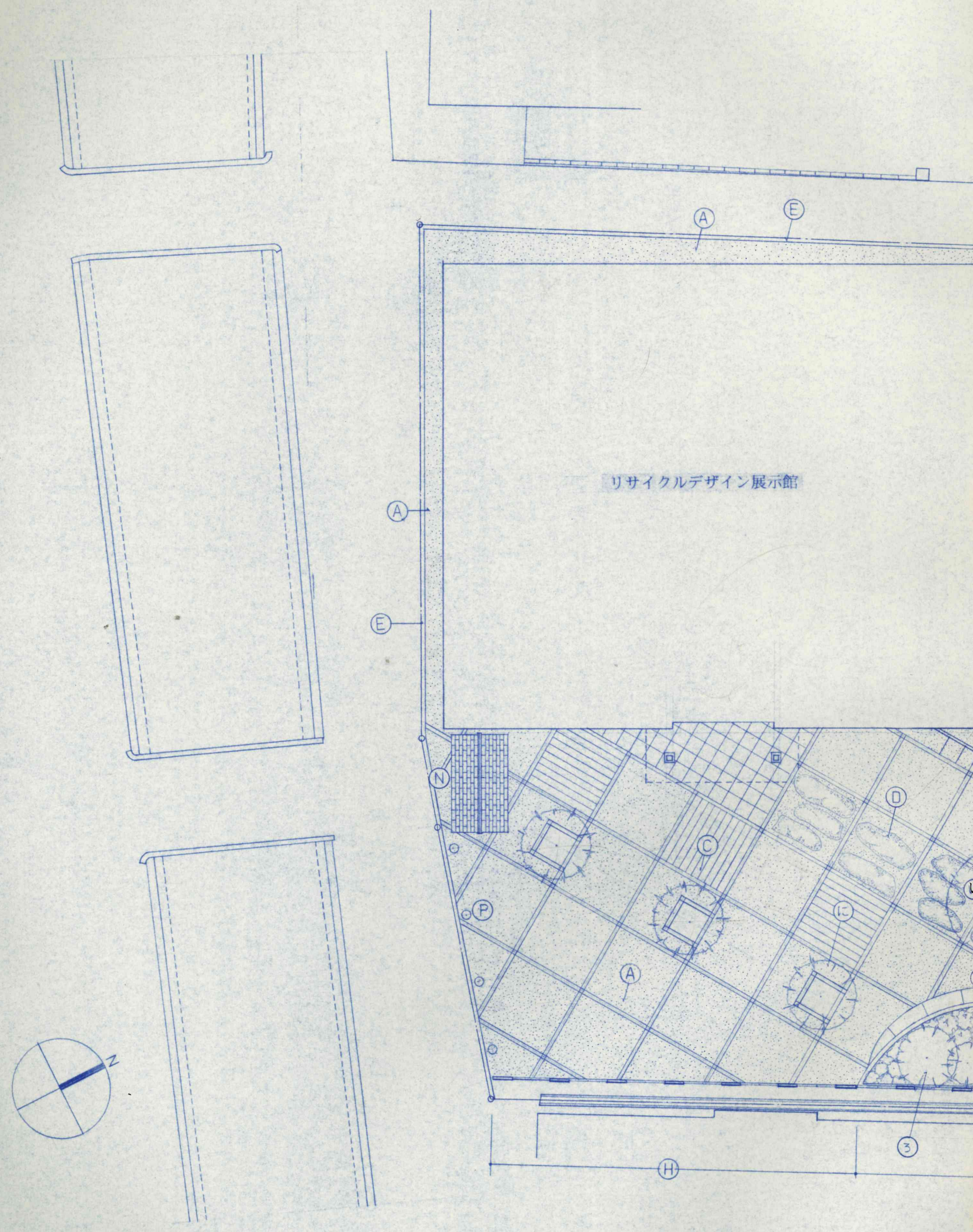
工事費明細書

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	共通仮設費(積上げ分)						
	仮囲い 道路面 二面	万能鋼板 H=3.0m	40.7	m			
	仮囲い その他 二面	養生シート張り H=3.0m	46.6	m			
	ゲート	キャスターゲート W6.0m*H1.8m	1.0	か所			
	交通誘導員		40.0	人			
	計						

位置図



解体建物：リサイクルデザイン展示館、倉庫
 解体構造物：凡例E(縁石)、G(階段)、K(ゲート)、N(門)、P(車止め)
 記号い(イチョウ)、ろ(エゴノキ)、は(サツキツツジ)、に(ナツツバキ)、ほ(リョウブ)、へ(フジ)



砂利に変更

凡例	
(A)	豆砂利(カラスチア混入)洗出し仕上り④45 コンクリート④70 ワイヤメッシュ④32 砕石④100
(B)	御影石・コロ石貼 JB仕上り 90×90×20 均シモルタル④3(空練)④25 コンクリート④70 砕石④100
(C)	橋板④50(現場発生材)赤土仕上げ 均シモルタル④3(空練)④30 コンクリート④80 砕石④100
(D)	自然石(現場発生材)均シモルタル④3(空練)④50 捨コンクリート④50 砕石④100
(E)	(縁石)地先境界70×7120×120×600 均シモルタル④3(空練)④30 捨コンクリート④50 砕石④100
(F)	土留メH500 コンクリート④100(カラスチア混入)小タタキ仕上り 化粧リブ④300
(G)	階段
(H)	塀1
(I)	塀2
(J)	塀3
(K)	ゲート
(L)	ベンチ
(M)	パティオ 木製(現場発生材使用)
(N)	門 既存物 屋根葺き替(銅板)
(O)	テーブル ザイレックスGT-2 同等品
(P)	車止め コルテックス EX-81403 同等品
(Q)	設備配管用トラフ:RC 側溝1種 500×600×2000 化粧した付

記号	名称	規格 H C W	単位	数量	備考
①	イチョウ	3.5 0.18 1.3	本	1	二脚鳥居支柱添付
②	エゴノキ	3.0 3本立	株立	5	二脚鳥居支柱添付
③	サツキツツジ	0.3		50	
④	ナツツバキ	3.0 3本立	株立	3	二脚鳥居支柱添付
⑤	リョウブ	3.0 3本立	株立	3	二脚鳥居支柱添付
⑥	フジ	0.12		2	添付1本支柱